

地区広報

かいぞう

つながる前の線路。



見学会では、線路の上を歩きました。
枕木は、コンクリートできていました。



階段は53段!



ゴム製の部品。



切替作業前の川原町駅。



平成26年10月24日の最終列車。
ヘッドマークには、「LAST-RUN」の文字が。

わあ〜!
すごい階段やなあ!

53段あります。
エレベーターもありますので、ベビーカーや車椅子も、
安心して利用いただけますよ。



線路の枕木は、コンクリート製なん?

はい。以前は碎石の道床に木製の枕木でした。
今は、コンクリートになっています。
「ゴムパッキン」がクッションの役割をする
「弾性軌道」になっています。「ゴムパッキン」は、
軌道の狂いが起こりにくくて、重量にも耐える
ことができるうえ、騒音や振動も少ないんですよ。

ホームから遠くがよく見えて、
眺めもええなあ。

地上7mほどありますので、3階建ての建物と同じくらい
になりますね。西側の見晴らしは2年後に上り線が完成
すると、下り線のホームからは見えにくくなりますね。

上り線は2年後に完成するんや。
どんな風になるか、今から楽しみやなあ。



十年後、私たちの海蔵地区は…
「海蔵地区都市計画マスタープラン」が策定
され、概ね十年間の地域づくりの計画が発表に
なりました。近鉄川原町駅周辺は、踏切のない
安全安心なまちへ…。また、川原町駅前広場
や公園の整備も予定されています。
川原町駅は、四日市駅へ向かう下り線が高架
に切り替わりました。秋に行われた見学会に参
加した「おばちゃん探検隊」は、担当の方に、
いろいろ聞いてきました。

川原町駅下り線切り替え工事

平成26年10月24日の深夜。

モコモコに着込んだ怪しいおばちゃま探検隊、阿倉川駅のホームに登場～!

四日市行き最終列車の先頭車両を写真に撮ってホクホクしながら乗り込むと、車内は工事関係者やカメラを抱えた人たちがいっぱい!

海蔵川を越えたあたりから、ビックリするくらい大勢の作業員さんが線路脇で待ち構え、とーっても明るい照明でヘルメットも輝いて見えました。

川原町駅の今まで使っていたホームに、最終列車が滑り込むと、一齐にフラッシュが光ってまるで芸能人の記者会見みたい!



線路の切り替え作業は、始発列車が走るまでの短い時間で終わらせなければなりませんから大変です。

川原町駅のホームに降りると、工事関係者の人達の緊張感が伝わってきました。

枕木は重機を使い、レールは大人数で力をあわせて持ち上げて運んだそうです。大量の碎石を敷き詰めるのも本当に大変な仕事だと思いました。

線路の切り替え作業が完了すると、午前5時20分ごろに「試運転列車」が到着。



切り替え後は安全に運行できるように、ありとあらゆる確認作業をしたそうです。

平成26年10月25日早朝。

おばちゃま探検隊、中川行き5時51分発始発列車に再登場。

先頭車両には、「FIRST-RUN」と書かれたヘッドマークが貼られていましたよ!

今回、最終列車と始発列車の両方に乗ってみて、本当にたくさんの人達のおかげで、安全に電車に乗れているんだなと実感しました。



川原町駅をふと見上げると、大きな仕事をやり遂げた人達の姿がホームにありました。みなさん本当にありがとうございました!

